

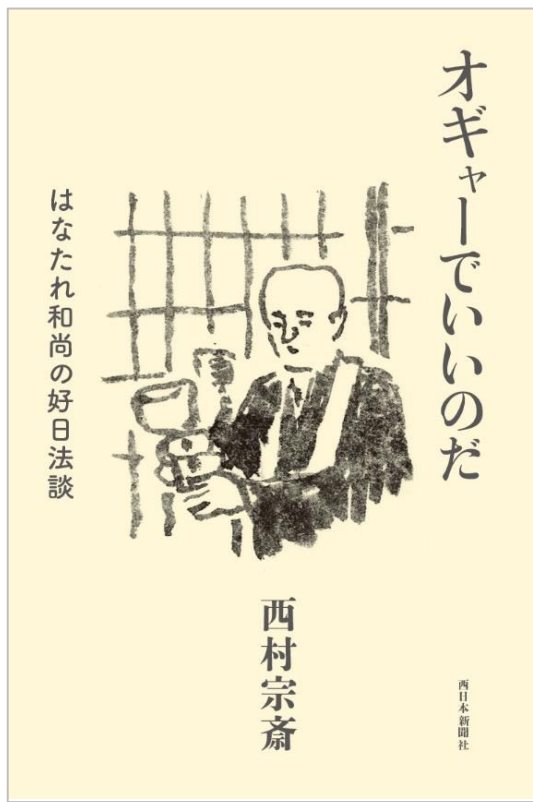


6月
新刊

オギヤーでいいのだ

はなたれ和尚の好日法談

布教師として各地で法話を行ってきた、禅僧「齋さん」
多くの人を引きつけてきたユーモアあふれる話を一冊に



突然がんで余命宣告を受ける。「なんとも苦しくもないのに、どうしてあと三カ月で死ななくてはならないのでしょうか」。師のもとに駆けつけ、そう打ち明ける。それでも、齋さんは命懸けで生きた。

昨日と今日を比べない、今日と明日を比べない。他人と自分を比べない。つまり「今ここ」が重要なのだ。生まれたときはみんなそうだったじゃないか。矛盾や、迷いや、悩みのただ中で、赤ちゃんに立ち返ろう。そう「オギヤーでいいのだ」

齋さんが各地で行った法話を収める中、「最後の法話」も収録。

著者 **西村宗齋**(1962~2020)
愛媛県小田町生まれ。愛光学園高校、京都大文学部哲学科を卒業。愛媛県宇和島市の鯨大師(願成寺)や兵庫県たつの市の寶林寺で住職を務める。2010年からは布教師として活動し、全国各地で法話を行った。



挿絵 牧野伊三夫／装幀 有山達也

注文品扱い(返品可)※見計らい配本なし／取次搬入(予)：6月下旬開始

注文

オギヤーでいいのだ はなたれ和尚の好日法談

978-4-8167-1002-5 C0014

西村 宗齋 著 本体1,400円/四六判・並製/298頁

取引コード:6168 (日販・トーハン・楽天ブックスネットワーク・きんぶん図書・地方小)

ご注文数

番線印

冊

(ご注文日)

(ご担当者名)